

## 平成29年度学校評価報告書

平成30年 3月29日

北海道教育委員会教育長 様

北海道釧路湖陵高等学校長 橋本達也 印

次のとおり平成29年度の学校評価について報告します。

## 【定時制】

## 1 本年度の重点目標

- ・学ぶ意義を理解させ、学ぶ意欲を喚起し、組織的・継続的に生徒を育てる。
- ・保護者との相互理解を深めながら、進路実現に向けて努力する生徒を支援する。
- ・学校行事や特別活動を通じて自己肯定感を育て、協働する喜びを経験させる。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	生徒個々の実態に即した多様性のある学習活動が実践され、生徒の学習意欲を向上させる様々な取組みが実践されている。	学習指導についての自己評価は、ほぼ適切である。ベーシックスタディの進展などは評価できる。
改善方策	学校サポーターや特別支援教育支援員の効果的な活用や三修制の導入により、生徒の学習意欲を高めて進路実現につなげていく。	
生徒指導	いじめなどの対策については日常的に情報共有が行われ、早期に対応が実践できている。部活動等の校外活動に参加し社会体験を積ませる活動が実践されている。	生徒指導についての自己評価はほぼ適切である。今後も生徒が活躍し評価される場面をたくさん作っていただきたい。
改善方策	スクールカウンセラー等との情報の共有や外部機関との連携強化による早期発見・早期対応に心がける。また、パートナーティチャー等との連携を図り多様な生徒を支援できる体制を構築する。	
進路指導	外部団体と連携したキャリア教育を実践できた。外部機関や地域と連携した進路指導により生徒の進路意識の向上が見られた。	進路指導についての自己評価はほぼ適切である。
改善方策	インターンシップや上級学校への体験入学への参加などによる将来への勤労観や職業観などを育成するキャリア教育を推進する。	
健康安全指導	特別な配慮が必要とされる生徒に対する支援などに対しては、特別支援教育コーディネーターが中心となり情報の共有を図り組織的に対応できた。	健康安全指導についての自己評価はほぼ適切である。教育相談の充実を図るなど個々のニーズへの対応をお願いしたい。
改善方策	個別の指導計画の充実を図るなど組織的・計画的な支援の実践を図る。	
信頼される学校づくり	P T A ・同窓会との連携などについては自己評価が高いとはいえないものの、学校行事への保護者の参加は年々増加している。	保護者向けの進路講演会や奨学金説明会などの実施は評価できる。
改善方策	百周年に向けた体制を構築する。	
組織運営	今年度は従来の4分掌から3分掌への変更があり、年度当初は混乱する場面もあったが、全職員の協力により連携が図られるようになってきている。	組織運営についての自己評価はほぼ適切である。目標を絞った実践が必要である。
改善方策	課題の共有化と課題解決に向けた協働体制の確立。	
教職員の資質向上	教員一人ひとりが、生徒の進路実現を具現化できる指導力が必要である。研修会への参加等による全職員のスキルアップが必要である。	職員が生徒に対して「一步前へ」の実践に向け尽力されていることは大変評価している。
改善方策	校外の研修、全日制の研修への積極的な参加。校内研修の充実。	
公表方法	学校ホームページ	

## 3 添付資料

- (1) 平成29年度学校評価 自己評価 全定各1部
- (2) 平成29年度学校評価 学校関係者(学校評議員) 評価書
- (3) 平成29年度第3回学校評議員会議事録